



写真：八丈小島（Wikimedia Commons より）

ISBN 978-4-588-21751-7 C0320 / 四六判・上製 310 頁 / 定価（本体 3200 円＋税）

日本誕生神話に記された島々の所在から南洋諸島の巨石文化まで、島をめぐる数々の謎を紹介するとともに、伝統漁法を中心に島民の生活文化を明らかにし、出産や葬送にまつわる習俗の古層を発掘。独自の宗教や祭儀を通して、島の精神性におよぶ。柳田國男や澁澤敬三ら先学の業績をふまえつつ、人はなぜ島に惹かれるのかをも考える島嶼文化論。第二部に、島の概念規定をはじめとするマニュアル・データを収録する

ものと人間の文化史 / 田辺 悟 著（価格は税別）

『海女（あま）』 3200 円、『網』 3200 円、『人魚』 3200 円、『イルカ』 3200 円、『鮪（まぐろ）』 3300 円、『磯』 3900 円

主要目次

プロローグ

第一部 島と人間の文化史

- I 島の世界へ誘う
- II 島の名前をめぐる
- III 島の民俗（族）と文化
- IV 島の生活とその周辺
- V 島々の伝統（旧廃）漁法
- VI 島々の巨石文化

第二部 島に関するマニュアル

- I 島のマニュアル・データ
- II 島で暮らす動物たち

エピローグ

引用・参考文献



壺井栄『二十四の瞳』の舞台となった小豆島の「岬の分教場」

田辺 悟（たなべ さとる） 1936 年神奈川県横須賀市生まれ、法政大学社会学部卒業、専攻は海村民俗学、民具学、文化史学、横須賀市自然・人文博物館館長、千葉経済大学教授、日本民具学会会長、文化庁文化審議会専門委員を歴任した。文学博士。2008 年旭日小綬章受章、著書：『海女』『網』『人魚』『イルカ』『鮪』『磯』（ものと人間の文化史・法政大学出版局）、『日本蛮人（あま）伝統の研究』（法政大学出版局・第 29 回柳田國男賞受賞）、『伊豆相模の民具』『近世日本蛮人伝統の研究』『海浜生活の歴史と民俗』『マグロの文化誌』『民具学の歴史と方法』（慶友社）、『潮騒の島——神島民俗誌』（光書房）、『母系の島々』（太平洋学会）、『城ヶ島漁村の教育社会学的研究』（平凡社・第 2 回下中教育奨励賞受賞）、『現代博物館論』（暁印書館・昭和 61 年度日本博物館協会東海地区業績賞受賞）、ほか。

----- 切り取って最寄りの書店にお渡し下さい -----

〒102-0073 東京都千代田区九段北 3-2-3 法政大学出版局 TEL03-5214-5540 FAX03-5214-5542

注 文 書	島 〈ものと人間の文化史 175〉 （ 冊）	書店名・ 番線
	ISBN 978-4-588-21751-7 C0320 定価（本体 3,200 円＋税）	
	お名前： _____	
	お住所： _____	
	お電話： _____	